

2025年度 学校評価結果のまとめ

～より良い学校作りのために～

学校運営スローガン
『夢 感動 感謝 誇り』

生徒会スローガン
『素敵・快適・家族的』



集計方法について

- ・アンケートのマークシート回答について、「わからない」と「無回答」のものを除外し、「あてはまる」を5点、「ややあてはまる」を4点、「ややあてはまらない」を2点、「あてはまらない」を1点に換算し、「生徒」「保護者」について平均点（5点満点、中間値が3点）を算出しました。

2025年度 学校評価結果のまとめ

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また日頃より本校の教育活動にご支援ご協力いただき、誠にありがとうございます。

先日はお忙しいところ学校評価のアンケートにご協力いただきありがとうございました。以下にその結果と読み取った課題や今後の方向性など（*印）について、ご報告いたします。

I 学校生活

生徒より

- ・私は、他の生徒に自分の考えや意見を伝えることができている。(3.85)
- ・私は、学校に行くのが楽しい。(4.08)
- ・私は、集団のルールやマナーを学び、学校生活のきまりを守っている。(4.25)
- ・私は、学校で地震や火事がおこった場合、どうしたらよいか知っている。(3.98)
- ・私は、学校の施設や学校で使う道具・器具が壊れたとき、すぐ先生に知らせている。(4.18)
- ・私は、学校からの連絡プリントを、家庭に渡している。(3.80)
- ・私は、先生や来校者にしっかりとあいさつしている。(4.42)

保護者より

- ・学校は、学校目標（1 開かれた学校教育を推進する 2 人間尊重の心を育てる 3 自ら学び、考え、表現する力を育てる）や経営理念（夢 感動 感謝 誇り）をわかりやすく伝えている。(3.7)
- ・学校の取り組みについて、学校から情報が提供されている。(4.0)
- ・学校独自の特色ある教育活動がおこなわれている。(3.4)
- ・学校は、保護者・地域と連携している。(4.0)
- ・学校は、子どもの安全確保について取り組んでいる。(4.0)
- ・学校では、子どもに関する個人情報を守られている。(4.0)
- ・学校では清掃美化や環境整備がなされている。(4.2)
- ・保護者への連絡や文書が、わかりやすく適切である。(4.0)
- ・学校は、子どもの様子がわかる機会を設けている。(4.0)
- ・子どもが楽しく学校に通っている。(4.0)
- ・家庭では、あいさつの大切さについて話をしている。(4.2)
- ・教職員の対応は、丁寧である。(4.1)

*生徒・保護者共に「学校が楽しい」との回答が高値を示しました。これは生徒の「規範意識(4.24)」の高さと、学校の「清掃・環境整備(4.2)」が行き届いていることによる、安心・安全で落ち着いた学校環境が大きな要因であると捉えています。

*生徒の「あいさつ(4.42)」は極めて高い数値となり、来校者からも多くのお褒めの言葉を頂いています。これは家庭での啓発(4.2)と教職員の丁寧な対応(4.1)が相まった成果であり、学校と家庭が連携して生徒を育てている表れであると分析します。

*「地域連携(4.0)」や「情報提供(4.0)」は一定の評価を得られました。一方で、「学校目標の周知(3.7)」や「独自の教育活動(3.4)」には課題が残ります。今後も学校運営協議会等を通じ、本校の特色や目指す姿をより具体的に発信していく工夫に努めます。



-授業の様子-



2 授業

生徒より

- ・私は授業をよく理解できている。(4.02)
- ・私は授業で、自分なりに考えをまとめたり、発表したりできている。(3.44)
- ・私は総合的な学習の時間で、幅広い分野の学習や経験ができている。(4.00)
- ・私の学力に対する自己評価は、通知表の成績とだいたい合っている。(3.93)
- ・私は、家庭学習にも意欲的に取り組んでいる。(3.37)



-生徒総会の様子-

保護者より

- ・家庭では、授業の大切さについて話をしている。(3.9)
- ・学校は、子どもの学力や努力を適切に評価している。(3.7)

* 「授業理解 (4.02)」と「総合的な学習 (4.00)」は共に高い評価であり、日々の学習への充実感が伺えます。今後も探究的な学びを継続し、横断的・総合的な学習を通して、課題解決能力や自己の生き方を考える資質・能力の育成に努めます。

* 「自分なりに考え発表する (3.44)」と「家庭学習 (3.37)」の数値が低く、アウトプットや学習の定着に課題があります。今後は授業内での発信機会を増やし、家庭と連携しながら、自ら机に向かい主体的に学ぶ習慣の確立を支援してまいります。

3 進路

生徒より

- ・私は、卒業後の進路について学校からの情報をもとに考えることができている。(3.55)
- ・私は「特別の教科道徳」や「総合的な学習の時間」などを通して、将来の進路や生き方について考えている。(3.81)

保護者より

- ・学校は、子どもの将来や職業などについて指導を行っている。(3.7)
- ・学校は進路に関して、家庭への連絡や情報提供を行っている。(3.6)

* 「将来の進路や生き方について考えている (3.81)」は肯定的な数値であり、キャリア教育が生徒の意識に浸透しつつあります。今後も、生徒が「学び・働きたい」という意欲を持ち、自分らしいキャリアを形成できるよう継続して支援してまいります。

* 「学校からの情報提供 (3.52)」や「家庭への連絡 (3.6)」は改善の余地があります。今後は1・2年生の段階から見通しを持てる情報発信を工夫し、保護者へもタイムリーかつ分かりやすい共有を行うことで、学校と家庭が一体となって進路選択を支える体制を整えます。

4 行事・生徒会

生徒より

- ・私は、学校行事(体育祭、文歌祭、宿泊行事等)を楽しんでいる。(4.63)
- ・私は、生徒会活動や委員会活動に活発に参加している。(3.30)
- ・私は、積極的に清掃活動に参加している。(4.06)
- ・私は、部活動または、地域でのクラブ活動等に楽しく参加している。(4.06)

保護者より

- ・学校は、子どもの質問や意見を聞く機会を設けている。(3.8)
- ・子どもが、文化祭、体育祭、宿泊行事などの学校行事を楽しみにして、積極的に参加している。(4.3)
- ・子どもが、積極的に部活動に取り組んでいる。(3.9)

* 「学校行事（4.63）」や保護者の期待（4.3）は極めて高く、集団で切磋琢磨する機会が生徒の所属感や達成感に繋がっています。この行事でのエネルギーは、部活動（4.06）や清掃（4.06）といった日常の規律ある生活にも良好な影響を及ぼしていると分析します。

* 「委員会活動（3.30）」の活性化が課題です。昨年の校則議論の機運を一部に留めず、全生徒が「学校を動かしている」と実感できる仕組みづくりを進めます。保護者評（3.8）も踏まえ、行事で見せた主体性を日常の課題解決に還元できるように、生徒の意見を聞く機会を充実させ支援を継続します。



-体育祭の様子-

5 生徒指導・支援

生徒より

- ・私は、学校で命の大切さや人の生き方、豊かな心のあり方について学んでいる。（4.11）
- ・私には、学校の中で相談できる人がいる。（4.01）
- ・私は、自分のまわりでいじめや暴力がなくなる(起こらない)ように取り組んでいる。（3.73）
- ・私は、クラスウィークなどでいろいろな悩みや相談を学校にできている。（3.56）

保護者より

- ・学校はいじめや暴力がない学校づくりに取り組んでいる。（3.8）
- ・学校は、命の大切さや社会のルール・マナーについて指導をおこなっている。（3.9）
- ・学校は、子どものまちがった行動を適切に指導している。（3.9）
- ・学校は、子どもの悩みや問題に対して、適切に対応している。（3.7）

* 「命の大切さ（4.11）」や「相談できる人の存在（4.01）」は非常に高く、教育活動全体を通じた指導が浸透し、教職員との信頼関係も良好です。保護者からも命の教育や不適切行動への指導（3.9）に高い評価を得ており、学校の指導方針が家庭の安心感に繋がっていると捉えています。

* 一方で、「いじめ防止の取り組み（3.73）」や「悩み相談（3.56）」には改善の余地があります。今後は組織的な早期発見を徹底するとともに、生徒がいじめを「自分事」として自発的に行動できる働きかけを強めます。個別面談を充実させ、一人ひとりの悩みに寄り添う迅速な対応体制を強化してまいります。

【保護者の皆さんからのご意見】

OPTAについて、活動内容によっては目的が分かりづらいものもあり、必要性の見直しや簡略化をご検討いただけるとありがたいです。今年度は文歌祭での収支報告にマイナスのものもあり、慣例化だけで継続する必要があるのか疑問を感じました。働き方や家庭状況が多様化しているため、参加しやすい形への改善をお願いしたいです。

<回答>

文歌祭の収支報告を踏まえた活動の必要性の精査、および家庭状況に配慮したスリム化の必要性について、PTA 役員会と情報を共有いたしました。慣例にとらわれず、時代のニーズに合った活動内容への見直しを、学校とPTAが連携して進めてまいります。

○学校は皆で一つの事を取組む大切さを学べる貴重な場所です。協力して行なう文化祭、合唱祭、体育祭、校外学習、部活などを無くして行かないで欲しいです。皆で協力して成し遂げる大切さや楽しさを学び、社会に出て協力出来る大人になると思います。先生達が大変じゃないように、シルバーさんや、コーチ、見守りの方を雇うなど、市や国で子どもの為に来ることがあると思います。

<回答>

行事を通じた教育活動へのご理解とご支持に感謝いたします。子供たちの成長に欠かせない行事を存続させることは学校の願いでもあります。一方で、持続可能な運営のためには、教職員の力だけでなく、外部人材（部活動指導員やシルバー人材等）の活用が不可欠であると認識しております。今後も市や国の方針を注視し、必要な予算や人員の確保を働きかけながら、行事の継続と教職員の働き方改革の両立を図ってまいります。

【学校運営協議会委員の方のご意見】

- ・地域には「力になりたい」という強い意向がある。学校のニーズと地域の支援をより具体的に結びつけ、議論の結果を確実に生徒へ還元する仕組みを整えていきたい。
- ・「素敵・快適・家族的」という良き伝統を大切にしつつ、自習室の開放など、現代の生徒のニーズに即した「新しい独自性」を地域と共に創り上げることが重要である。
- ・「防災・救命」については、卒業までに全ての生徒が高い意識を持てるよう、救命講習の実施を含めた教育課程の工夫を要望する。
- ・生徒が誰に悩みを相談しているのかを把握し、教師・家族・仲間に加え、地域の大人が「第4の相談先」になれるような開かれた環境づくりを目指したい。

最後に より良い学校作りのために学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。貴重なご意見を参考にして、さらにより良い学校作りを目指していきたいと思っております。来年度も羽鳥中学校の教育活動にさらなるご協力をよろしくお願いいたします。

